

第2回 活動レポート

まちなか再生ミーティング

■ 開催概要

開催場所：ファームプラザ新天町
開催日時：平成27年11月19日（木）18時～20時
参加者数：25名

■ オブザーバー

久保田 后子（宇部市長）
栗原 清隆（宇部市地方創生推進協議会会長）
片岡 昭憲（宇部市総合政策部長）

1. はじめに

■ 開会

オブザーバーの久保田市長、栗原地方創生推進協議会会長より、第1回の内容を発展させて、さらに具体的な若者活動の提案とその協議に対する参加者の積極的な参加を期待する旨の挨拶がありました。

■ 第1回活動のまとめ

第1回で協議された「まちなかのイメージ」、「まちなかの強み、弱み」、「若者」がまちなかで集い、活動し、躍動するためには」という3つのテーマに関する参加者の意見が取りまとめられ、報告されました。

《まちなかのイメージ》

賑わいを感じられず、シンボル性が乏しい

《まちなかの強み、弱み》

「強み」：道路や公共交通、医療・福祉施設、文化施設、商業・業務施設等の充実、就業者・学生をはじめとする若者が近くに居住している事など
「弱み」：集い自由に活動できる場所がない、空き店舗や駐車場等が多い、商店街に元気が無いなど

《まちなかで若者が活動、活躍するには》

「場所づくり」：おしゃれでかっこいい、お金がかからず集える、用がなくても立ち寄れる場所
「活動補助」：居住や就業、購買に対する行政支援
「情報発信」：地域と若者がお互いのニーズを知る
「頻繁なイベント開催による魅力向上」
「交通環境の整備」



2. まちなか再生のために『若者が出来ること』、『若者にしてほしいこと』

参加者に、まちなか再生のために『若者が出来ること』、『若者にしてほしいこと』について提案してもらい、若者と地域住民の考えが一致する項目、異なる項目を確認しました。

若者としてできることについては、イベントの企画や参加、SNSを用いた情報発信といった意見が多く、地域からは他世代間を繋ぐ人材としてまちなかの活動に参加することを期待する意見や、労働や購買を通してまちに活力を与える役割を期待する意見がありました。



まちなかでの「若者の活動」に対する参加者の提案

《活動成果発表》

- ・活動成果の発表・表現
- ・芸術的創作活動をまちに開く
- ・舞台・コンサート

《イベント活動》

- ・イベントの企画・参加
- ・祭りやイベントの実行委員
- ・宇部まつりに参加してほしい（地域）
- ・清掃活動への参加
- ・若者目線での店舗の経営

《情報発信》

- ・まちで起こった情報を広く発信する
- ・まちのデザイン
- ・FacebookやTwitterなどSNSを活用して人材を集め、活動や情報を広げる
- ・若者間の口コミでの情報伝達

《オブザーバーのコメント》

久保田市長：みなさんのアイデアは議論しながら進めて、若者が集まれる場所をハードもソフトも整備していきたいと思います。若い方たちがプランナーになって、是非絵を描いてほしいと思っています。
栗原 会長：若い人たちには、まちを一度1日歩いてほしいと思います。その中で、感じるもの、想いをアイデアとして出してもらえたいことを期待します。

《コミュニケーション・連携強化》

- ・学生間の連携による活動
- ・まちを知り、興味を持ってほしい（地域）
- ・地域のサークルに参加してほしい（地域）
- ・ボランティア活動で中心的役割を担ってほしい（地域）
- ・ボランティア活動
- ・大学に地域交流課をつくってほしい（地域）

《まちに出る》

- ・公共施設の活用
- ・商店街での買い物・食事
- ・まちなかを歩く
- ・まちに活力を与えるため、まちなかを歩いてほしい（地域）

《労働・就職》

- ・宇部市で就職してほしい（地域）
- ・空き家などを活用して、起業・創業してほしい（地域）

3. 若者の活動場所は？

まちなか再生のために若者が活動する場合、その活動場所として適しているのはどこか、参加者に地図上にシールを貼ってもらいました。また、その場所を選んだ理由を一人ずつ発表してもらい、活動内容とその場所との関係について、意見を出し合いました。最も多くの参加者が選んだ場所は、中央町地区、次いで市役所周辺地区（新天町を含む）でした。



活動場所選定の理由

《中央町》

- ・活性化のために人の流れを作りたい
- ・雨でも活動できるイベント広場がある
- ・下町として界隈性と趣味的活動を重視する地区のため
- ・広いオープンスペースがあり活動が制限されにくい
- ・アルバイトや飲食に通う際に若者の目につきやすい
- ・駅に近く周囲に影響を与えやすい
- ・整備された駐車場があり、駅に近い
- ・まちなかの中心にあり、集まりやすい（銀天ブラザ）
- ・多くのイベントが行われた実績がある（銀天ブラザ）

《市役所周辺及び新天町》

市役所周辺

- ・道路から見えやすく地域の人達が認識しやすい
- ・交通量が多く、歩道が広い
- ・バス停、井筒屋、ヒストリア宇部がある
- ・イベント時に人が集まり、市役所とも連携しやすい

新天町

- ・魅力ある個店があるものの空き店舗も目立つため
- ・商店街を盛り上げたいから
- ・商店街を維持したい
- ・空き店舗が多く伸びしろが感じられるため

《宇部新川駅周辺》

- ・宇部市のみではなく、他都市からも集まりやすい
- ・駅前が寂しすぎるので何とかしたい
- ・まちのイメージや魅力をPRしやすい
- ・公共交通でアクセスが可能
- ・公共交通の促進に繋がる
- ・イベントの開催、案内所として機能できる
- ・飲食店が多くイベントでコミュニケーションが図れる

《その他》

- ・大学生とお年寄り、小学生とが交流できる（神原公園）
- ・ビジネス拠点として（琴芝ふれあいセンター周辺）
- ・立ち寄りやすく、活動が目にとまりやすい（ジョイフルの三叉路）
- ・まちの南北軸を強めるため（真綿川公園）
- ・公園が重点整備地区間にあり、人が集まりやすいため（真綿川公園）



● 参加者の選定場所

まちなかでの活動場所

《オブザーバーのコメント》

栗原 会長：活動を期待する場所は、個人的には中央町三丁目。空き店舗や空き家が多く、もっとも昼間人口が低い地区。課題がある地区だからこそ、若者の力で盛り上げてほしいと思います。

片岡 部長：まずは、若い人がまちに出て、買い物や飲食をすることで街のことを知る事がまちなか再生への第一歩。若い人がまちを歩くことがまちに活力を与えるので、みなさんそれぞれのノリで、できることから始めてほしいと思います。

4. 活動の場所に必要な機能は？

『若者』が活動する場所に必要な機能は何か？について、参加者全員が意見を発表しました。イベント開催を想定した施設・設備、情報発信と情報収集を行うためのIT環境とアプリケーションソフト、集会、飲食、研究・創作活動のための施設に関する提案があげられました。

《イベント機能》

- ・イベント利用ができる商業施設
- ・スポットライト・音響設備付きのステージ
- ・ダンス等発表ステージ
- ・屋外芝生広場・緑の広場
- ・防音機能
- ・展示スペース
- ・屋内ホール・講演会場
- ・演劇場等、芸能の場
- ・地デジ、BS、インターネット回線
- ・大型モニター（パブリックビューイング用）
- ・スピーカー

《集会機能》

- ・椅子・テーブル
- ・ベンチ
- ・書籍コーナー
- ・子ども（中学生未満）の預かり所
- ・子どもの遊び場
- ・スポーツ・運動場
- ・24時間使用可能なミーティングスペース
- ・無料で使用できる集会スペース

《IT環境》

- ・Wi-fi
- ・まちなか情報発信のアプリケーション
- ・掲示板
- ・施設運営のための維持管理システム

《飲食》

- ・カフェ
- ・おしゃれな喫茶店
- ・キッチン

《研究・創作》

- ・大学の研究室
- ・スタジオ・制作作業スペース



《総評》

栗原 会長：今日提案された機能は、宇部市のまちなかのどこかにあり、パーツパーツで見れば機能はそろっています。しかし、それらを併せ持つ総合的な施設がありません。コンビニ、ネットカフェ、スタジオなど若者が希望する機能が集約された施設ができれば、若者も活動がしやすいのではないのでしょうか。

片岡 部長：みなさんのご意見は決して無理なことではないと思います。とにかく、どこか場所を決めて、みんなができることから行動し、集積していけば賑わいづくりができると思います。若い皆さんの活動に期待しています。

今後の開催日程 第3回…12月3日（木）（場所：宇部市総合福祉会館、琴芝町二丁目4番20号）
第4回…12月17日（木）

http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/toshikeikaku/chuushinshigaichi/machinaka_saisei_meeting.html

問い合わせ：宇部市総合政策部まちづくり総合推進室 Tel.34-8896

制作：山口大学都市計画・都市設計研究室、発行：宇部市